

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディベーシックⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEA テキスト 10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田畑優子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・脱毛復習	オリエンテーション・Wax (Warm/Hot)
2	通し練習	スウェディッシュマッサージ復習～脱毛まで・脱毛項目成績評価③
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

5	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
6	同上	同上
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価④
8	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax 脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカル I		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカル I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10 冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリング II ・ エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田畑優子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディテクニカル オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等）
2	プレトリートメント導入	化粧品、赤外線、ヒートマットなどを用いて行うプレトリートメント(理論、実技)
3	同上	同上
4	ボディ電気機器 直流電流	ガルバニック 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒イオン・デイスインクラステーション

5	同上	同上
6	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒低周波
7	同上	同上
8	ボディ電気機器 実技テスト①	成績評価①
9	ボディ電気機器 サクション	サクション 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒パター
10	同上	同上
11	ボディ電気機器 G5	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12	同上	同上
13	ボディ電気機器 実技テスト②	成績評価②
14	プレトリートメント・電気トリートメント 選択方法復習（カウンセリング含クライアント実習）	クライアントに応じた機器の選択 禁忌事項・操作方法の確認
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルII		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編I 理論編III AEA テキスト 10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO インターナショナル合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO インターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田畑優子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体質・トラブル別の選択 生理学・化粧品学・機器	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	同上	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価③
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

5	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
6	同上	同上
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価④
8	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
9	同上	同上
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディ II		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディ II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10 冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリング II ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏/戸田歩美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1 年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2 年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） 1 年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEA コンサルテーションシートの記入方法について
3	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学

4	同上	同上
5	同上	同上
6	ボディ電気機器 サクシヨン	サクシヨン 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7	同上	同上
8	AEA 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
9	同上	同上
10	同上	同上
11	ボディ電気機器 G5	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12	同上	同上
13	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習
14	同上	ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業 (脱毛の導入)	総まとめを行う ※各校判断で脱毛理論や実技の導入の実施可能

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディ III		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディ III		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10 冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリング II ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	千布ゆかり/田畑優子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習 (腕・足) 成績評価① 脱毛試験
3	同上	同上
4	同上	同上

5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
6	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax 脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	AJESTE 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価② 模擬試験
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルII-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルII-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEA テキスト 10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	高口明夏/戸田歩美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	AEA 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習

4	同上	同上
5	同上	同上
6	AEA 模擬試験	成績評価①
7	フェイシャル電気機器 直流電流	イオンフォレーゼ・ディスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
8	同上	同上
9	フェイシャル電気機器 サクション	パター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→解剖生理学 ボディ→サクション)
10	同上	同上
11	フェイシャル電気機器 高周波	高周波 (直接法・間接法・閃光法) 実技理論・デモンストレーション含む
12	同上	同上
13	フェイシャル総合授業	成績評価②
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルIII-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルIII-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEA テキスト 10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	高口明夏/戸田歩美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器	【3コマ】 カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果 【3コマ】 メイク・ネイルいずれかを実施
2	同上	【3コマ】 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】 メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ スウェデッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践

5	同上	同上
6	AJESTHE 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
7	同上	同上
8	同上	同上
9	模擬試験	成績評価③
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル アフターカウンセリング
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価④
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルII - C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルII - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編I 理論編III AEA テキスト 10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合 (資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルII オリエンテーション	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク (肌別・形状別)	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 (目的、効果、成分、使用法等)
3	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ導入	オリジナルマッサージ デモンストレーション
4	同上	同上

5	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・ディスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む
6	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む
7	同上	同上
8	AEA 上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
9	同上	同上
10	フェイシャル電気機器 サクション	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→解剖生理学 ボディ→サクション
11	同上	同上
12	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
13	同上	同上
14	フェイシャル機器総合	成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEA テキスト 10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏/戸田歩美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2	同上	同上
3	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器・ディ ープクレンジング	カウンセリングシート作成（選択理由・目的・効果） 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法
4	同上	ディープクレンジングの肌別選択・目的

5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
6	技術力確認試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ アフターカウンセリング
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論 I - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論 I - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編 I - III / AEA テキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験 60%/小テスト・ケースワーク 20%/授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルII・プロフェイシャルII・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能

5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患 ・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価①
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	同上
7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8	同上	同上
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官のの構造と働き）
10	同上	同上
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12	AEA 上級認定 E 演習問題	AEA 問題集の解説を行いながら検定対策をする
13	同上	同上
14	筆記試験	模擬試験 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論II - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論II - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ / AEAテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA 上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE 認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験 60%/小テスト・ケースワーク 20%/授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルII・プロフェイシャルII・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期の振り返り
2	脱毛学 ※プロボディIIにて実技導入	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
3	同上	・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
4	認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
5	同上	同上

6	同上	同上
7	同上	同上
8	同上	同上
9	筆記試験	成績評価③ AJESTHE 上級 模試
10	認定上級 E 実技対策	AJESTHE 上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論 I - C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論 I - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト・問題集 A E A テキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編			出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピー検定対策 (ヒーリングエステ専攻対応) アロマテラピー I で学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマテラピー検定 1 級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験 60% (内アロマ検定 1 級合否含む) /小テスト 20%/授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定 1 級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次 総合まとめ	オリエンテーション・検定対策 Chapter1 アロマテラピーの基本・Chapter 5 アロマテラピーのメカニズム
2	1年次 総合まとめ	Chapter 2 きちんと知りたい精油のこと
3	1年次 総合まとめ	Chapter 3 アロマテラピーの安全性 Chapter 4 アロマテラピーを実践する

4	1年次 総合まとめ	Chapter 6 アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア
5	1年次 総合まとめ	Chapter 7 アロマセラピーの歴史をひもとく
6	1年次 総合まとめ	Chapter 2 きちんと知りたい精油のこと (切っても切れない精油と環境の深い関係)
7	1年次 総合まとめ 筆記試験	成績評価① 総合まとめ
8	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト 1
9	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト 2
10	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト 3
11	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト 4
12	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト 5
13	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト 6
14	筆記試験	成績評価② 精油プロフィールまとめ
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論II - C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論II - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 A E Aテキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編			出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 (ヒーリングエステ専攻対応) アロマセラピーIで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験 40%/小テスト 20%/アロマ検定1級合否 20%/授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2	同上	同上
3	アロマ4検定筆記対策	検定練習問題

4	アロマ検定筆記対策	検定練習問題
5	東洋医学	東洋医学とは 陰陽五行説について
6	同上	五臓六腑について・気・血・水／八綱病証・外因・内因
7	ロミロミ	ロミロミとは
8	同上	マッサージの特徴・有益性・効果
9	フラワー・レメディ	フラワーレメディとは
10	筆記試験	成績評価①
11	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダの歴史・考え方・体質判断について・食事・生活・その他 ドーシャバランスについて
12	カラーセラピー	カラーセラピーについて（効果・特徴） オーラソーマについて・カウンセリング
13	同上	色の言語 ・ カウンセリング
14	筆記試験	色の言語 ・ 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論 I		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論 I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き。 ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	前期の振り返り
2	1. スキントッチと効果 ※カウンセリングと連携	感覚器としての皮膚・スキントッチの重要性 エステティックマッサージとその心理的効果
3	精油紹介① (ホメオスタシス)	トリートメント用 ブレンドオイル作り

4	2. 脳の誕生と進化・機能 (ホメオスタシス)	ヒトの脳・脳と心
5	精油紹介② (ホメオスタシス)	シアバタークリーム作り
6	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脳の基本構造 各部の役割 (大脳皮質・間脳脳幹・小脳)
7	同上	脊髄の構造と働き 末梢神経の種類・神経の伝達経路
8	4. ホメオスタシス ※カウンセリングと連携	外部環境への適応 ホメオスタシスの三角形の各メカニズム
9	精油紹介③ (ホメオスタシス)	ハンガリアンウォーター・化粧水作り
10	5. ストレス ※カウンセリングと連携	ストレスとその正体・ストレスとホメオスタシス・病気 ストレスと上手に付き合う方法・職場とストレス 成績評価①
11	精油紹介④ (ホメオスタシス)	手作りせっけん・石けん素地
12	6. 心と肥満のかかわり ※カウンセリングと連携	福平真子
13	アロマ1級範囲 復習 ①	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務
14	アロマ1級範囲 復習 ②	植物と共に生きてきた私たちの歴史/いま地球が抱えるさまざまな難問 1人ひとりができること から～未来の子どもたちのため 成績評価② 模擬試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験 60%/小テスト 10%/授業態度、提出物など 10%/アロマ検定1級合格 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2	同上	同上
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価③
4	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	ウスベニアオイ

5	同上	エキナセア
6	同上	エルダーフラワー
7	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	セントジョワズワート ハーブ以外の材料
8	同上	ネットル・安全に使用するために メディカルハーブの効果と仕組み筆記試験 成績評価④
9	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	・ダンディライオン・ラズベリールーフ・ジャーマンカモミール/パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張
10	同上	・リンデン ・ハーブを利用するための様々な方法(湿布) ・花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)
11	同上	・ジャーマンカモミール(復習)・ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の 予防 ・ハイビスカス/マテ ・スポーツ前の集中力と持続力のアップ
12	同上	マルベリー/ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷
13	同上	・不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ペットのケア(ペパーミント) ・二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)
14	同上	風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスベニアオイ・ジャーマンカモミール)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピー I		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピー I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディ II、エステティックカウンセリング II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏/戸田歩美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	2コマ：オリエンテーション 2コマ：ペディキュア デモンストレーション
2	ペディキュア リフレクソロジー	ペディキュア デモンストレーション・練習
3	同上	リフレクソロジー反射区《理論》 手技（親指の使い方）反射位置・効果・注意点 ペディキュア 練習
4	同上	台湾式フットマッサージ《理論》・フットケアについて 疾病・道具・フットバス・足の観察 相モデルで練習 ・ ペディキュア 練習

5	同上	リフレクソロジー・ペディキュア 成績評価①
6	オリジナル・スウェディッシュマ ッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマ ッサージ導入
7	スウェディッシュマ ッサージ練習	オリジナルマ ッサージ デ モンスト レーション
8	同上	オリジナルマ ッサージ 練 習
9	同上	オリジナルマ ッサージ 練 習
10	同上	オリジナルマ ッサージ 練 習
11	ロミロミ アロマテラ ピー	プレ・前操 作・ブレ ンディ ング 背部
12	同上	下肢背 面・下 肢全 面・ブ レ ン デ ィ ン グ
13	同上	腹部・デ コ ル テ ・頭 部 ・ブ レ ン デ ィ ン グ
14	同上	ブレ ン デ ィ ン グ コン サ ル テ ー シ ョ ン ・的 確 な 部 位 の マ ッ サ ー ジ ～ ク ロ ー ジ ン グ 成 績 評 価 ②
15	総合授 業	総 ま と め 授 業 を 行 う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピー II		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピー II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験 60%/授業態度・提出物など 20% エステ研修試験結果 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディ II、エステティックカウンセリング II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高口明夏/戸田歩美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2	同上	同上
3	タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
4	同上	タラソパック デモタラソの活用実技 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パック

5	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュ マッサージ)	ホット・コールドホットストーンの歴史 チャクラとは?チャクラの位置
6	同上	前操作～腰背部～下肢後面 のデモンストレーション・練習
7	同上	仰向けへのセット～下肢前面・腕・デコルテのデモンストレーション・練習
8	同上	成績評価①
9	脱毛(実技理論含む)	脱毛理論(全体で6時間) 禁忌・注意事項など
10	同上	脱毛理論・実技・最新脱毛機器について
11	アーユルヴェーダ	背中～腕のデモンストレーションと練習 背中～腕の練習
12	同上	脚後面のデモンストレーションと練習 脚後面の練習
13	同上	上半身前面のデモンストレーションと練習 上半身前面の練習
14	同上	カウンセリング～マッサージ (体質判定・オイル選び・部位選択) 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高原 愛	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務めている。検定対策、スカルプチュアネイル、ジェルネイル中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復習
2	JNEC 2級検定の振り返り ジェル中級対策①	JNEC 2級の振り返り ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策②	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策③	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策④	ジェル中級に向けて実技練習

6	ジェル中級対策⑤	ジェル中級に向けて実技練習
7	JNEC 1級対策① または ジェル中級対策⑥	JNEC 1級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC 1級対策②	JNEC 1級検定のセッティング及び流れを覚える
9	JNEC 1級筆記模擬試験・対策	1級試験 筆記試験対策
10	JNEC 1級対策③	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC 1級対策④	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC 1級対策⑤	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技対策	筆記テスト 実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科		60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高原 愛	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務めている。検定対策、スカルプチュアネイル、ジェルネイル中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC 1級対策①	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
2	JNEC 1級対策②	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC 1級対策③	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	ジェル上級対策①	ジェル上級に向けて実技練習
5	ジェル上級対策②	ジェル上級に向けて実技練習

6	ジェル上級対策③	ジェル上級に向けて実技練習
7	ジェル上級対策④	ジェル上級に向けて実技練習
8	ジェル上級対策⑤	ジェル上級に向けて実技練習
9	ジェル上級対策⑥	ジェル上級に向けて実技練習
10	ジェル上級対策⑦	ジェル上級に向けて実技練習
11	ジェル上級対策⑧	ジェル上級に向けて実技練習
12	実技練習	振り返りの実施
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 60%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高原 愛	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務めている。検定対策、スカルプチュアネイル、ジェルネイル中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明	1年間の授業の流れ 1年次及び JNEC 2級の復習をし JNEC1 級に向けて実技練習
2	JNEC 1級対策①	1級検定のセッティング及び流れを覚える
3	JNEC 1級対策②	1級検定のセッティング及び流れを覚える
4	JNEC 1級対策③	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
5	JNEC 1級対策④	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする

6	JNEC 1 級対策⑤	JNEC 1 級検定に向けての実技練習
7	JNEC 1 級対策⑥	JNEC 1 級検定に向けての実技練習
8	JNEC 1 級対策⑦ 筆記テスト	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 筆記テスト
9	JNEC 1 級対策⑧	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
10	JNEC 1 級対策⑨	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC 1 級対策⑩	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC 1 級対策⑪	JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアII		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアII		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートII・検定対策II/III				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高原 愛	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務めている。検定対策、スカルプチュアネイル、ジェルネイル中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC 1級検定内容確認 (筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	JNEC 1級対策①	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC 1級対策②	JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	スカルプチュア①	クリアスカルプチュア 実技 10本
5	スカルプチュア②	グラデーションスカルプチュア 実技 10本

6	スカルプチュア③	グラデーションスカルプチュア 実技 10本
7	スカルプチュア④	フレンチスカルプチュア デモ・実技
8	スカルプチュア⑤	フレンチスカルプチュア 実技
9	スカルプチュア⑥	フレンチスカルプチュア 実技 バーチャルフレンチスカルプチュア デモ
10	スカルプチュア⑦	スピードスカルプチュア 相モデルで10本
11	スカルプチュア⑧	スピードスカルプチュア 相モデルで10本
12	スカルプチュア⑨	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習
13	筆記試験 実技試験	筆記試験 実技試験
14	実技試験	実技試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルIII		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートII・検定対策II/III				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技

6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする
8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルIII		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルIII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートII・検定対策II/III				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技

6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
8	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技③	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテスト II		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテスト II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度 20%・実技テスト 80%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートII・ジェルネイルII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 和代	実務経験	○		
実務内容	<p>常任本部認定講師を務め、その上サロン経営をしている。</p> <p>コンテスト、検定対策中心に授業を担当しネイルスクール講師も務める。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト

6	アート①	チップ作成によるアート
7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート④	チップ作成によるアート
9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度 20%・実技テスト 80%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 和代	実務経験	○		
実務内容	<p>常任本部認定講師を務め、その上サロン経営をしている。</p> <p>コンテスト、検定対策中心に授業を担当しネイルスクール講師も務める。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成

6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアII		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高原 愛	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務めている。検定対策、スカルプチュアネイル、ジェルネイル中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振り返りと2級検定振り返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシンを使用するのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー

6	フットケア④	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア⑥	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア（マシン） カラー①	ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア（マシン） カラー②	ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアIII		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアIII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高原 愛	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務めている。検定対策、スカルプチュアネイル、ジェルネイル中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア (メタルプッシャー) を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア (メタルプッシャー) を学ぶ

6	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
7	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
8	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
9	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
10	フットケア（マシン） マシンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ
11	フットケア（マシン） マシンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ
12	実技試験①	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアート II		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアート II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出 90%・授業態度他 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技

6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技
7	3Dアート（検定用）	検定用3Dアートに実技
8	エアブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える
9	エアブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート①	1級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出 90%・授業態度他 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級/JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定用アート①	1級検定アートの実技
2	検定用アート③ タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート② タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する

6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作①	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する
9	作品制作②	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	2年間の総復習
12	卒業制作②	2年間の総復習
13	卒業制作③	2年間の総復習
14	卒業制作④	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-J		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河村 志帆	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOW を通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	同上
3	サロンワーク技術練習	同上
4	サロンワーク技術練習	同上

5	サロンワーク技術練習	同上
6	サロンワーク技術練習	同上
7	サロンワーク技術練習	同上
8	サロンワーク技術練習	同上
9	サロンワーク技術練習	同上
10	サロンワーク技術練習	同上
11	サロンワーク技術練習	同上
12	サロンワーク技術練習・テスト	同上
13	サロンワーク技術練習	同上
14	振り返り	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-J		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河村 志帆	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	同上
3	サロンワーク技術練習	同上
4	サロンワーク技術練習	同上
5	サロンワーク技術練習	同上

6	サロンワーク技術練習	同上
7	サロンワーク技術練習	同上
8	サロンワーク技術練習	同上
9	サロンワーク技術練習	同上
10	サロンワーク技術練習	同上
11	サロンワーク技術練習	同上
12	サロンワーク技術練習・テスト	同上
13	サロンワーク技術練習	同上
14	振り返り	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ - J		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ - J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系
5	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	カラダをつくる食事

6	同上	バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7	同上	腸を整えよう
8	同上	カラダをあたためよう・腸活と温活
9	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	食事とアンチエイジング
10	同上	同上
11	同上	オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12	同上	テスト 成績評価①
13	カラダの内側から整える Lesson2 カラダを休める睡眠	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14	同上	質のよい睡眠の条件 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディII		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエーン化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディIで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディI				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南理恵	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディII オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論(皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディープクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディープクレンジング 吸引	スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)

6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用方法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12	同上	成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ・アロマセラピー総論Ⅱ・生理学解剖学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	南理恵	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディ技術理論 (生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
2	マッサージ復習 コンサルテーションシート	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
3	同上	復習
4	下肢前面	デモスト・手技・拭き取り
5	同上	相モデル練習

6	同上	成績評価①
7	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
8	同上	通し練習
9	アロマセラピーのある暮らし精油 のプロフィール	香りのイメージ 安全の為の注意/イランイラン
10	アロマトリートメント(全身)	精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
11	同上	芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
12	同上	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
13	同上	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
14	同上	成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートI-J		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートI-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
5	チップラップ実技	チップラップ実技

6	チップラップ実技	チップラップ実技
7	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	マシンケア・オフ 講義デモ	ネイルマシンを使ったケア・オフの技術を学ぶ
10	プレパレーション・オフ	プレパレーション・オフ技術を習得する
11	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ - J		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ - J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40% 後期：アート作品 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする
2	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明 エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ

6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルI		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルI		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、 サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果 30%・宿題/授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30% 後期：宿題/授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	越後谷 南水	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務め、その上サロン経営をしている。検定対策中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ	教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまでデモンストレーション
2	初級検定説明・デモ	初級検定説明・デモ
3	クリアカラー実技	ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ
4	ジェル初級検定実技①	初級検定内容を学び・技術を学ぶ

5	ジェル初級検定実技②	ジェル初級検定実技
6	ジェル初級検定実技③	ジェル初級検定実技
7	ジェル初級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	ジェル初級検定実技⑤	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	実技テスト①	実技テスト
10	実技テスト② 筆記テスト	実技テスト 筆記テスト
11	JNEC 2級検定実技①	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	JNEC 2級検定実技②	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	JNEC 2級検定実技③	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14	JNEC 2級検定実技④	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルII		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、 サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果 30%・宿題/授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30% 後期：宿題/授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	越後谷 南水	実務経験	○		
実務内容	本部認定講師を務め、その上サロン経営をしている。検定対策中心に授業を担当し講師歴22年となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
2	JNEC2級検定実技①	タイム取りをして検定実技の練習を行う
3	JNEC2級検定実技②	タイム取りをして検定実技の練習を行う
4	筆記テスト JNEC2級検定実技③	筆記テスト タイム取りをして検定実技の練習を行う
5	JNEC2級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う

6	ジェルネイル①	フレンチ・グラデーションデモ・実技
7	ジェルネイル②	フレンチ・グラデーション・実技
8	ジェルネイル③	フレンチ・グラデーション実技
9	ジェルネイル④	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技
10	ジェルネイル⑤	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
11	ジェルネイル⑥	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
12	ジェルネイル⑦	ジェルアート
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクII		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクI、トータルメイクII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐野	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)

7	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐野	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成

7	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル⑨	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル⑩	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑪	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイク II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三谷	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習 ①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。 また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。 また、質感の特徴も理解する

6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。
9	スチールメイク②	SNS や雑誌等を活用してスチールメイクをする
10	スチールメイク③	SNS や雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクII		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3分2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクII、パーソナルヘア&メイクIII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三谷	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成

7	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
8	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする
10	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
11	卒業制作①	卒業制作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作②	メイク練習
13	卒業制作③	卒業制作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作④	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティス I		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティス I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	YOGA ポーズ解剖図鑑 ヨガマット、フォームローラー		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる ヨガやピラティスのポーズを実施する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲谷 美帆子	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点/違いについて学ぶ
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ/歴史、ヨガとエクササイズの違いを学ぶ (実技：基本姿勢の実践)
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的/肉体的な効果と精神的な効果・ヨガの実践方法/3つのプロセス、ヨガのポイントについて学ぶ (実技：基本姿勢からのアーサナ)
4	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果について学ぶ (実技：呼吸を意識してポーズの実践)
5	ヨガの瞑想	瞑想とは・瞑想のメカニズム/瞑想の効果、自分と向き合う/シャバーサナの必要性について学ぶ (実技：ヨガフロー)

6	チャクラについて	チャクラの場所と効果について学ぶ (実技：チャクラを意識したヨガ)
7	ヨガ筆記テスト①	テストの実施
8	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について学ぶ (実技：太陽礼拝)
9	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らしについて学ぶ (実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ)
10	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える (実技：ヨガフロー)
11	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
12	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
13	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
14	ヨガ実技テスト①	実技：ヨガフローを実施する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ピラティス大全 ヨガマット、フォームローラー		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲谷 美帆子	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ピラティスの基本	ピラティスのルーツ／歴史、効果、目指すところ、マシンピラティスについて学ぶ（実技：基本姿勢について）
2	ピラティスの姿勢	姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢について学ぶ（実技：基本姿勢からのピラティス）
3	ピラティスの基本動作	ピラティスの代表的な動きを実践する（実技：基本動作）
4	ピラティスの呼吸法	深く呼吸する為様々な呼吸法を実践する（実技：お腹、胸、背中、脇腹の呼吸）
5	成績評価① 基本のスタートポジション	筆記テストの実施 スタートポジションの正しい姿勢を実践する

6	目的別ピラティスプログラム	初心者向けプログラムの実践
7	目的別ピラティスプログラム	姿勢改善プログラムの実践
8	目的別ピラティスプログラム	腰痛予防プログラムの実践
9	目的別ピラティスプログラム	お腹痩せプログラムの実践
10	目的別ピラティスプログラム	全身調整プログラムの実践
11	成績評価②	実技テストを実施する
12	背中メゾット	簡単エクササイズ方法の紹介・実践する（実技：背中エクササイズ）
13	部分エクササイズ	トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編について学ぶ（実技：集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編）
14	部分エクササイズ	トラブルの原因／くびれ、美脚、バストアップ編について学ぶ（実技：集中エクササイズ／くびれ、美脚、バストアップ編）
15	課題作成	エクササイズを調べ課題を作成する（実技：ヨガ&ピラティス）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学 I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得 30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋渡 沙耶香	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることの意義 (P21~26)、自己分析 第2章 Q1~Q5 について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6~Q10 について学ぶ
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11~Q15 について学ぶ
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16~Q20 について学ぶ
5	同上	第5章 Q21~Q25 について学ぶ

6	模擬試験①	第2章～第5章 成績評価① テストを実施する
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26～Q31 について学ぶ
8	インスリンとGI値	第7章 Q32～Q34 について学ぶ
9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35～Q40 について学ぶ
10	模擬テスト	成績評価② テストを実施する
11	模試解説	模擬試験の解説を行う
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説を行う
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFC バランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について学ぶ
14	同上	ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズムについて学ぶ
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的な使用方法について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学II		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋渡 沙耶香	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について学ぶ 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ~ 褐色脂肪細胞について学ぶ
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義~同化・異化のシステムコントロールについて学ぶ
3	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経~食欲との付き合い方について学ぶ
4	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本~誰でもできるウォーキングについて学ぶ
5	同上	筋肉トレーニングと基礎代謝の増加~DIT エネルギー消費量比較について学ぶ

6	模擬試験	成績評価③ テストを実施する
7	模試解説	模擬試験の解説を行う
8	第6章 運動と筋肉と代謝（補足）	運動実践を行う
9	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返りを行う
10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成する
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成をする
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	80
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価 60% 学校側評価 40% (ビジネスマナー 20%・各コース該当項目 20%)				
認定条件	・出席時間数が 54 単位時間以上の者				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ・就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上垣 裕子他	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習

7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ - J		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ - J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福平真子	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カラダの内側から整える Lesson3 カラダを巡らせる運動	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
2	同上	運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには
4	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
5	同上	肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)

6	同上	同上
7	同上	美しいカラダを保つためのボディケア
8	同上	スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
9	総合まとめ	成績評価①
10	カラダの外側から整える Lesson2 ヘアケアで美しい髪	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
11	同上	同上
12	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
13	同上	Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
14	総合まとめ	ナチュラルビューティースタ일리スト検定 模試 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う